

## 第6章 おわりに

### 6-1 整備効果の検証

必要に応じて、整備路線で次の評価指標のモニタリングを行い、効果的かつ効率的な整備を進めます。

- 実施指標（アウトプット）：整備延長
- 成果指標（アウトカム）：自転車の車道通行率、自転車事故件数、整備路線の道路利用者（歩行者、自転車利用者及び自動車のドライバー）の満足度 等

### 6-2 『取り組み』の見直し

6-1 の評価結果によっては、関係者と協議しながら適宜『取り組み』の見直しを行っていきます。

また、対象範囲において、道路構造及び交通状況の変化や、再開発等の土地利用の変更があるなど、自転車の利用環境に影響を及ぼすことが想定される場合にも、同様に見直しを行っていきます。

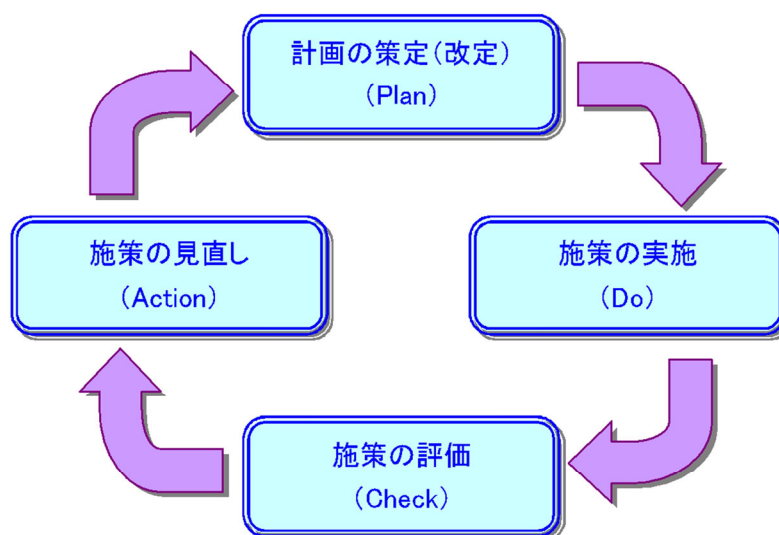


図 6-1 PDCA サイクルによる見直しイメージ